

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券は帳簿価額による(償却原価法に基づいて算定した価額)。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品 定額法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残額

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,505,000	99,000	0	299,604,000
小 計	299,505,000	99,000	0	299,604,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,404,378	0	1,519,525	2,884,853
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
国際交流事業基金(普通預金)	21,160,721	0	2,854,636	18,306,085
小 計	236,183,568	0	4,374,161	231,190,938
合 計	535,787,568	99,000	4,374,161	530,794,938

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	299,604,000	—	(299,604,000)	—
小 計	299,604,000	—	(299,604,000)	—
特定資産				
退職給付引当資産	2,884,853	—	(2,884,853)	0
国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	—	(210,000,000)	—
国際交流事業基金(普通預金)	18,306,085	—	(18,306,085)	—
小 計	231,190,938	—	(231,190,938)	(2,884,853)
合 計	530,794,938	—	(530,794,938)	(2,884,853)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	額 面 千円	帳簿価額 (a)	時 価 (b)	評価損益 (b)-(a)
公社債				
オリックス	100,000	99,604,000	106,390,000	6,786,000
三井住友銀行	70,000	70,000,000	71,481,000	1,481,000
大和証券グループ	20,000	20,000,000	20,198,000	198,000
39回ソフトバンクグループ	30,000	30,000,000	29,997,000	△ 3,000
51回ソフトバンク	20,000	20,000,000	20,000,000	0
リパッケージ・ユーロ円債(SMFG)	50,000	50,000,000	50,000,000	0
シルフミテッドシリーズ50298	50,000	50,000,000	49,050,000	△ 950,000
ABNアムロ銀行	40,000	40,000,000	39,992,000	△ 8,000
シングルネーム・クレジットリンク債	30,000	30,000,000	30,000,000	0
クレディセゾン	30,000	30,000,000	30,078,000	78,000
クレジットリンク債	50,000	50,000,000	49,665,000	△ 335,000
リパッケージ・ユーロ円債(COMMERZBANK)	10,000	10,000,000	10,000,000	0
MS&ADインシュアランス	10,000	10,000,000	9,937,000	△ 63,000
合 計	510,000	509,604,000	516,788,000	7,184,000